

情 報 公 開 文 書

【研究課題名】

パーキンソン病患者における転倒頻度と身体機能および認知機能との関連性

1. 研究の目的

パーキンソン病の転倒率は高く、日常生活における活動性の低下や生活の質を低下させ、パーキンソン病の症状を悪化させる可能性があります。転倒に関するリハビリテーションプログラムの有用性を高めていくために転倒しやすい患者特性を把握することでリスク管理やリハビリテーション戦略について検討を行います。

2. 研究の方法

●対象となる患者さん

パーキンソン病の患者さんで 2023 年 4 月～2025 年 4 月に当院で入院しリハビリテーションを受けられた方

●研究期間

2025 年生命倫理委員会承認後から 2026 年 4 月 30 日

●研究に用いる検体・診療情報の種類

診療情報：

病歴、過去の転倒歴、歩行速度やバランス能力などの運動機能、認知機能、カルテ番号 等

3. 診療情報の管理

診療情報は、当院のみで利用します。

＜この研究での診療情報等の取扱い＞

宇多野病院生命倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等は、お名前、住所等、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結びつける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。

4. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院

京都市右京区鳴滝音戸山町8

電話番号（代表）075-461-5121

研究責任者 リハビリテーション科 田實 裕嗣